

令和6年度学校自己評価システムシート (県立川口高等学校)

S02

目指す学校像	生徒の可能性を追求し、進路を実現する力と人間力を高める学校
--------	-------------------------------

重点目標	1 高く正し…高い志と目標を持ち、主体的に学習して自己実現を図る生徒を育成する教育体制の構築を推進 2 文武自考…協働しながら高い志を持って挑戦する強い心と自ら考えて行動する特色ある教育活動を推進 3 情報発信…地域・家庭・中学校と連携して情報発信を行い、より一層開かれた学校づくりを推進
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者 生徒 事務局(教職員)	名 名 名
-----	-------------------------	-------------

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 (月 日 現 在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	「高く正し」 【現状】 校訓「高く正し」のもと、朝読書の取組などにより、落ち着いた雰囲気の中で授業は行われている。1人1台のタブレット導入が2学年まで完了し、教育のICT化が進んだ。 【課題】 早期に生徒一人一人に明確な目的意識と意欲を持たせるために、教員の指導力を結集できる体制づくりとともに、主体的に学習に取り組む生徒の育成が求められる。	○生徒の学習意欲を向上させるため、組織的に指導する。 ○進路指導部を中心とした学年横断的な進路指導体制を構築する。	①教員同士の授業互見やデジタルとアナログを融合させた個別最適化学習の推進をとおして、授業改善・学習環境整備を図る。 ②「生徒手帳」の活用とタブレットの利用をとおして、計画・記録の定着および理解の深化を図る。 ①『進路の手引』を活用し、1学年から3年間を見通した進路指導を行い、適切なキャリア意識を持たせる。 ②進学希望者の進路実現のため、1学年から保護者への意識啓発と生徒の学力向上の具体的な方策に取り組む。	①授業の内容について肯定的に答えた生徒の割合の前年度と比較 ②生徒手帳の活用やタブレットの活用の活用について肯定的に答えた生徒の割合の前年度との比較 ①進路指導に対して意欲的に取り組んだ生徒の割合の前年度との比較 ②各学年が、卒業までの成長を見通した進学指導体制を構築できたか			
2	「文武自考」 【現状】 生徒一人ひとりを大切にしている指導により、時間遵守・挨拶等の基本的な生活習慣は整いつつある。昨年度は、学校行事も概ね計画どおり実施でき、生徒の主体的な活動をはぐくむ場面も多く設定できた。 【課題】 ポストコロナの時代において、基本的な生活習慣の確立とともに、メンタル的な支援が重要になってきている。生徒が自らを律する心を育成する必要がある。	○生徒の自律心を育成するため、組織的に支援する。 ○部活動・特別活動の充実と安心安全を確保する。	①挨拶励行、身だしなみ指導などとおして、基本的な生活習慣を確立する。 ②交通マナーを遵守させ、公共心を育てる。 ③学校行事の充実を図り、豊かな学校生活を実現し、学校への帰属意識を高める。 ①生徒の主体性を引き出し、達成感を感じさせられる部活動・特別活動に取り組む。 ②あきらめない力、頑張る力、コミュニケーション力など非認知能力伸長への取組。	①挨拶・服装・整頓等の年間目標の実施状況 ②交通事故件0件日数の増加 ③ポストコロナにおいて、生徒の主体性を生かした体育祭・文化祭等の学校行事が実施できたか。 ①生徒の部活動への加入率と満足度の前年度との比較 ②学校生活への満足度の前年度との比較			
3	「情報発信」 【現状】 学校ホームページによる情報発信で、保護者や地域の方々から一定の評価を得ている。また、学校保護者連絡用メールの活用で、きめ細かな連絡体制を確立することができた。ポストコロナにより、学校説明会を対面方式で3回開催し、志願倍率増加につなげることができた。 【課題】 学校ホームページおよび学校保護者連絡用メール活用のさらなる充実と、開かれた学校づくりを継続的に推進できる体制づくりが課題である。	○川口高校の教育活動を積極的に広報する体制づくりに取り組む。 ○積極的な情報発信と家庭との連携強化を図る。	○学校の教育活動を積極的に発信し、保護者・地域・卒業生などに川高ファンを増やす。 ○学校ホームページや学校保護者連絡用メールを活用し、学校の最新情報を積極的に提供する。	①学校ホームページを適宜更新し、学校情報発信をすることができたか。 ②学校説明会等を工夫して開催することができたか。 ○迅速で正確な学校ホームページ掲載、学校からの保護者連絡を実施できたか。			

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	